

平成31年4月12日	
資料提供	
担当課	県立自然博物館
担当者	主任学芸員 小原
電話	073-483-1777

玄関展示

和歌山県初のクモヒトデ化石を発見

那智勝浦町大勝浦の海岸において、和歌山県では初となるクモヒトデの化石が発見されました。クモヒトデは死後に体がバラバラになりやすいことから、化石として保存されることは稀です。この現場では10個体以上のクモヒトデの化石が確認され、少なくとも4種類が識別されました。詳細な種類については現在研究中です。なお、化石が含まれていた地層は、約1600万年前の深海で形成されたものと推定されています。

発見場所は南紀熊野ジオパークのジオサイト内であり、発見のきっかけは那智勝浦町「まちなかジオツアー」の下見でした。地元でのジオパーク活動が貴重な化石発見につながった好例と言えます。

化石について報告した論文が和歌山県立自然博物館報に掲載されましたので、このたび展示公開することにいたしました。

化石の概要

1 名称 クモヒトデの化石

- ・オフィオフサルムス属?の一種
(トゲナガクモヒトデ科) 1点
- ・オフィアカンサ属?の一種
(トゲナガクモヒトデ科) 2点
- ・スナクモヒトデ科?の一種 1点
- ・属種不明 1点

2 産出地点 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大勝浦

3 地層・推定年代 熊野層群敷屋累層 新生代新第三紀中新世中期(約1600万年前)

4 展示期間 2019年4月16日(火)～5月31日(金)

5 展示数 4種5点

6 発見からの経緯

2013年12月：和歌山大学災害科学教育研究センターの後 誠介客員教授がクモヒトデ化石を発見

*現場が吉野熊野国立公園内であったため、採取はせずに現地保存という判断を下す。

2016年7月：現地調査・化石採取

*波の浸食により化石の一部が消失していることが判明したため。

2018年12月：調査結果をまとめた報告の公開

7 問い合わせ先

〒642-0001 和歌山県海南市船尾370-1

和歌山県立自然博物館



TEL: 073-483-1777

FAX: 073-483-2721

<https://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp>

mail: postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp



オフィオフサルムス属?の一種